



報道関係者 各位

2011年09月28日

## ～マルハニチロホールディングス、「子どもの成長とDHAに関する調査」～

**食卓に登場する頻度 魚は週 2.20 日****子どもの食事には「脳の発達を促す栄養」「難関校への進学希望層」で1割半  
「ゲンを担いだ食事」でサポート “受験予定あり層”では2割****“頭にいい”栄養として認識 「DHA」82.9%  
“DHA入りをつい買ってしまう” 4割弱 “難関校への進学希望層”では5割  
“DHAサプリを摂取” 中学受験経験層の約4人に1人****“頭が良くなるメニュー”はどうやって調べる？  
半数以上が「料理・レシピサイト」、「料理・クッキングアプリ」も1割****子どもの脳の発達にプラスの影響があると思うゲームは？  
「スポーツ体感ゲーム」が5割弱で「脳トレゲーム」を上回る****発育期の食事が知りたいQ芸能人 1位「ロザン・宇治原さん」  
未就学児のママでは「さかなクンさん」3割強で2位**

株式会社マルハニチロホールディングス (<http://www.maruha-nichiro.co.jp/>) (所在地：東京都江東区豊洲3-2-20 代表取締役社長 久代 敏男)は、2011年09月02日～09月08日の7日間で、末子が高校生以下で、週1回以上自宅で夕食を作る30～49歳の母親に対し「子どもの成長とDHAに関する調査」をインターネットリサーチ（モバイルリサーチ）で実施し、1,000名の有効回答サンプルを集計しました。

**夕食を「週に1日以上」自宅で作る割合****◆夕食を「週1日以上」自宅で作る 98.6%**

自宅で夕食を作る頻度を事前調査で確認しましたところ、全体（事前調査回答者で末子が高校生以下の1,275名）では、自宅で夕食を『週1日以上』作る割合は98.6%という結果となりました。年代別に見ると、30代98.7%、40代98.3%となりました。

**「子どもの成長とDHAに関する調査」 調査結果****◆食卓に登場する頻度 魚は週 2.20 日**

全回答者（1,000名）に、肉、魚、野菜について、食卓にどれくらいの頻度で登場するか聞きましたところ、肉では「週に4～5日程度」44.2%が最も多く、魚では「週に2～3日程度」57.5%、野菜では「ほぼ毎日」82.2%が最も多くなり、それぞれの1週間での平均登場日数を見ると、肉4.37日、魚2.20日、野菜5.98日という結果となりました。

**◆子どもの食事で心がけていることは？****「子どもの脳の発達を促す栄養」「難関校への進学希望層」で1割半  
◆「ゲンを担いだ食事」で勉強をサポート “受験予定あり層”では2割  
「塾弁を用意する」も1割強**

全回答者（1,000名）に、普段、お子様の食事で心がけていることを聞きましたところ、「野

菜を取り入れるようにしている」82.4%が8割強で最も多く、次いで「栄養バランスをとれるようにしている」65.7%、「手作りの料理を食べさせるようにしている」54.9%、「子どもの好きなメニューを取り入れるようにしている」48.7%、「旬の食材を取り入れるようにしている」47.1%が続きました。また、「魚を取り入れるようにしている」(34.8%)、「子どもの体の発育を促す栄養を摂れるようにしている」(34.3%)は3割半となりました。

子どもの学年別に見ると、未就学児の親では「魚を取り入れるようにしている」(44.0%)、「塩分を控えるようにしている」(34.5%)、「子どもの体の発育を促す栄養を摂れるようにしている」(41.0%)、「子どもの好きなメニューを取り入れるようにしている」(55.0%)で全体より5ポイント以上高くなっており、特に「魚を取り入れるようにしている」(44.0%)では、全体と比べ9.2ポイント高くなりました。

また、難関校への進学希望別で見ると、【難関校への進学希望層】(お子様に難関校への進学を希望する229名)では、「子どもの脳の発達を促す栄養を摂れるようにしている」が16.6%となっており、【難関校への進学非希望層】(お子様に難関校への進学を希望しない771名)の5.7%と比べ、10.9ポイント高くなりました。

次に、お子様の勉強をサポートするために食事面でやっていることを聞きましたところ、「子どもの体調維持するための食事を用意する」が最も多く53.1%、次いで「子どもの疲れがとれるような食事を用意する」17.0%、「試験などの時に、ゲンを担いだ食事を用意する」11.2%が続きました。

今年度の受験予定別にみると、【受験予定あり層】(今年度お子様に受験の予定がある104名)では、「試験などの時に、ゲンを担いだ食事を用意する」は20.2%と2割になり、「塾で食べる用のお弁当(塾弁)を用意する」は12.5%と1割強になりました。

#### ◆名前を知っている栄養は？

◆“頭にいい”栄養として認識 「DHA」82.9%

◆“DHA入りをつい買ってしまう”4割弱 “難関校への進学希望層”では5割

◆“DHAサプリを摂取” 中学受験経験層では約4人に1人

◆中学受験の第一志望合格率とDHA摂取の関係は？

全回答者(1,000名)に、名前を知っている栄養を聞きましたところ、認知率が9割以上の栄養が半数以上となり、その他の栄養でも「EPA(エイコサペンタエン酸)」(37.8%)を除く栄養で認知率が8割以上となっていますが、特に認知率が高かった栄養(上位5つ)は「カルシウム」(98.5%)、「ビタミンC」(97.7%)、「DHA(ドコサヘキサエン酸)」(94.9%)、「ブドウ糖」(94.7%)、「ポリフェノール」(94.6%)でした。

また、いわゆる“頭にいい”栄養として認識していた栄養を聞きましたところ、「DHA(ドコサヘキサエン酸)」82.9%が8割強で際立って高くなりました。以下、「ブドウ糖」40.7%、「カルシウム」27.1%、「EPA(エイコサペンタエン酸)」19.5%、「大豆ペプチド」18.7%が続きました。

そして、8割強の回答者に“頭にいい”栄養として認識されていたDHAですが、DHAに関連する経験について聞きましたところ、経験が「ある」との回答は、“DHAを意識して家庭での食事を作ったこと”では34.6%と3割半、“DHA入りと書かれた商品をつい買ってしまうこと”では37.9%と4割弱という結果となりました。

難関校への進学希望別で見ると、【難関校への進学希望層】では、“DHAを意識して家庭での食事を作ったこと”では46.3%と4割半、また、“DHA入りと書かれた商品をつい買ってしまうこと”では49.3%と5割となり、それぞれ【難関校への進学非希望層】と比べ、10ポイント以上高くなりました。【難関校への進学希望層】の方がDHAへの関心が高い様子が窺えます。

また、“DHAのサプリメントを摂取させたこと”では、9.6%と1割が「ある」と回答しました。お子様が中学受験を経験している54名では、13名(24.1%)が「ある」と回答し、中学受験経験者の約4人に1人がDHAのサプリメントを摂取した経験があるという結果となりました。

そして、サンプル数がやや少ない為、参考値となりますが、DHAのサプリメントを摂取したこ

とがある13名の中学受験の結果を見ると、13名中10名(割合にすると7割半)が「第一志望校に合格した」となりました。一方、DHAのサプリメントを摂取したことがない41名の中学受験結果を見ると、「第一志望校に合格した」のは41名中19名(割合にすると4割半)でした。

同様に参考値となりますが、魚が食卓に登場する頻度別に、中学受験経験者の受験結果について見ると、魚が食卓に週2日以上登場する39名では、「第一志望校に合格した」のは39名中22名(割合にすると5割半)で、魚が食卓に登場する頻度が週1日以下の15名では、「第一志望校に合格した」のは15名中7名(割合にすると4割半)という結果となりました。

#### ◆ “頭がよくなるメニュー”はどうやって調べる？

半数以上が「料理・レシピサイト」、「料理・クッキングアプリ」も1割

#### ◆ “頭が良くなるように魚をたくさん摂らせようと思った”4割が経験

全回答者(1,000名)に、食事に関する経験を聞きましたところ、経験が「ある」の値は、“頭が良くなるメニューを調べたこと”では15.1%と1割半となりました。

難関校への進学希望別に見ると、【難関校への進学希望層】では24.9%と2割半が“頭が良くなるメニュー”を調べており、【難関校への進学非希望層】(12.2%)と比べると12.7ポイント高くなりました。

そして、“頭が良くなるメニューを調べたこと”があると回答した151名に、どのようにして調べたかを聞きましたところ、「インターネットの料理・レシピサイト」が51.7%で半数以上となりました。最近ではスマートフォン利用者が増えてきていますが「料理・クッキングのアプリ」について見ると9.3%で1割となりました。

また、料理関連以外で調べたものを見ると「インターネットの教育・受験サイト」が13.9%、「学校や塾の先生」が3.3%となり、【難関校への進学希望層】では「インターネットの教育・受験サイト」が22.8%と2割強、「学校や塾の先生」が5.3%となりました。

また、子供の成績と食事についての経験を聞きましたところ、魚食によって頭が良くなることを期待している様子や勉強を料理でサポートしている様子も窺え、“子どもの頭が良くなるように、魚をたくさん摂らせようと思ったこと”では、経験が「ある」との回答は39.4%で4割となっており、また、“料理で応援しているから、もっと勉強を頑張りたいと思ったこと”では、21.9%で2割強となりました。

【難関校への進学希望層】では、特に魚への期待やお子様への期待が強い様子で、“子どもの頭が良くなるように、魚をたくさん摂らせようと思ったこと”では52.0%と半数を超え、“料理で応援しているから、もっと勉強を頑張りたいと思ったこと”では31.0%と3割が「ある」という結果となりました。

#### ◆ 子どもの脳の発達にプラスの影響があると思うゲームは？

「スポーツ体感ゲーム」が5割弱で「脳トレゲーム」を上回る

#### ◆ 発育期の食事が知りたいIQ芸能人 1位「ロザン・宇治原さん」

未就学児のママでは「さかなクンさん」3割強で2位

ところで、家庭用ゲームやソーシャルゲームなど数多くのゲームがありますが、全回答者(1,000名)に、テレビゲームやケータイゲームがお子様の脳の発達に影響があると思うかをゲームのジャンル別に聞きましたところ、手足や体全体を動かすようなゲームで「プラスの影響がある」との回答が多く“(手足や体全体を動かす)スポーツ体感ゲーム”では48.4%と5割弱で“脳トレゲーム”の43.6%を上回り、“(手足や体全体を動かす)ダンシングゲーム”は43.5%と、“脳トレゲーム”とほぼ同率という結果となりました。

そして、“発育期にどのような食事を摂っていたのか知りたいIQ芸能人”を聞きましたところ、1位は京都大学出身でクイズ番組によく出演しているお笑い芸人「ロザン・宇治原史規さん」で42.8%、2位は『僕たちは世界を変えることができない。But, we wanna build a school in Cambodia.』に出演の俳優「向井理さん」で29.3%、3位は東京大学出身で2級建築士の資格も持つタレント「菊川怜さん」で26.3%、4位はラ・サール高校出身のタレント「ラサール石井さん」

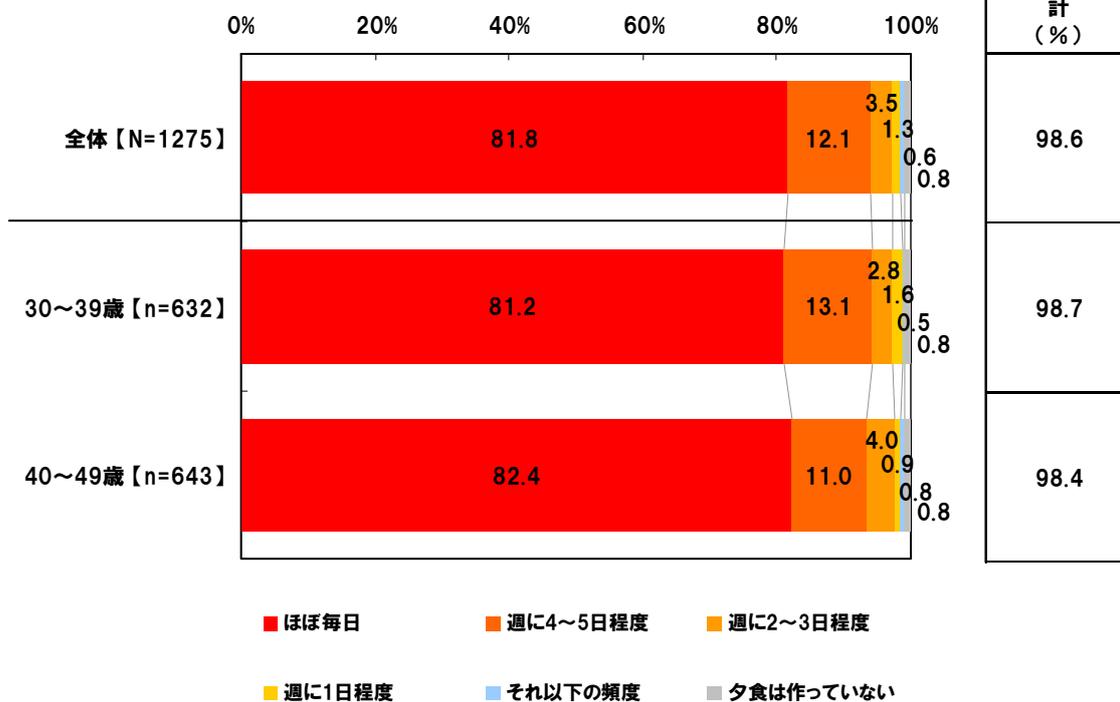
で 22.9%、5 位は東京海洋大学客員准教授でタレントの「さかなクンさん」22.6%という結果となりました。

難関校への進学希望別に見ると、【難関校への進学希望層】では、「菊川怜さん」(35.8%)、「香川照之さん」(23.1%) や「ロザン・宇治原史規さん」(51.5%)、「辰巳琢郎さん」(27.1%) で【難関校への進学非希望層】と比べるといずれも 10 ポイント以上高くなりました。東大・京大出身 IQ 芸能人の発育期の食事に興味がある様子が窺えます。

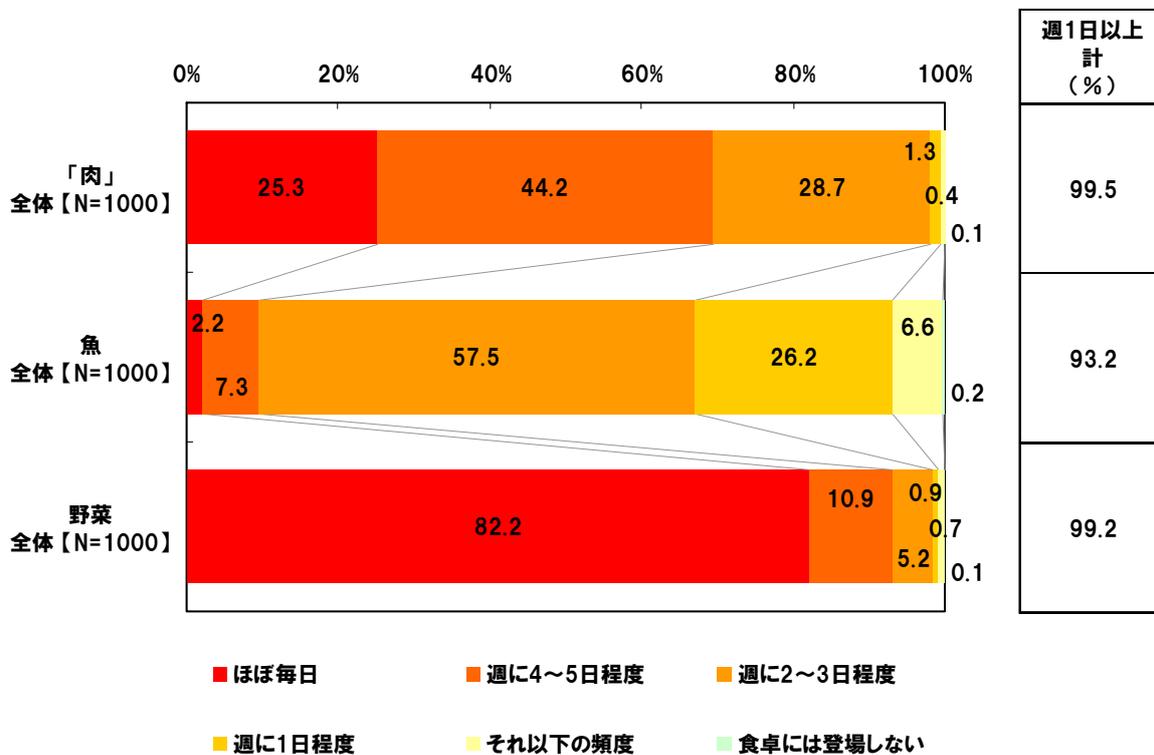
また、子どもの学年別で見ると、お子様向けのイベントなど行っている「さかなクンさん」では未就学児、小学 1~3 年生の母親で他の学年の母親より高い傾向が見られ、未就学児の母親では 32.0%で第 2 位となり、小学 1~3 年生の母親でも 27.4%と 3 割前後となりました。

◆自宅で夕食を作る頻度  
(単一回答形式)

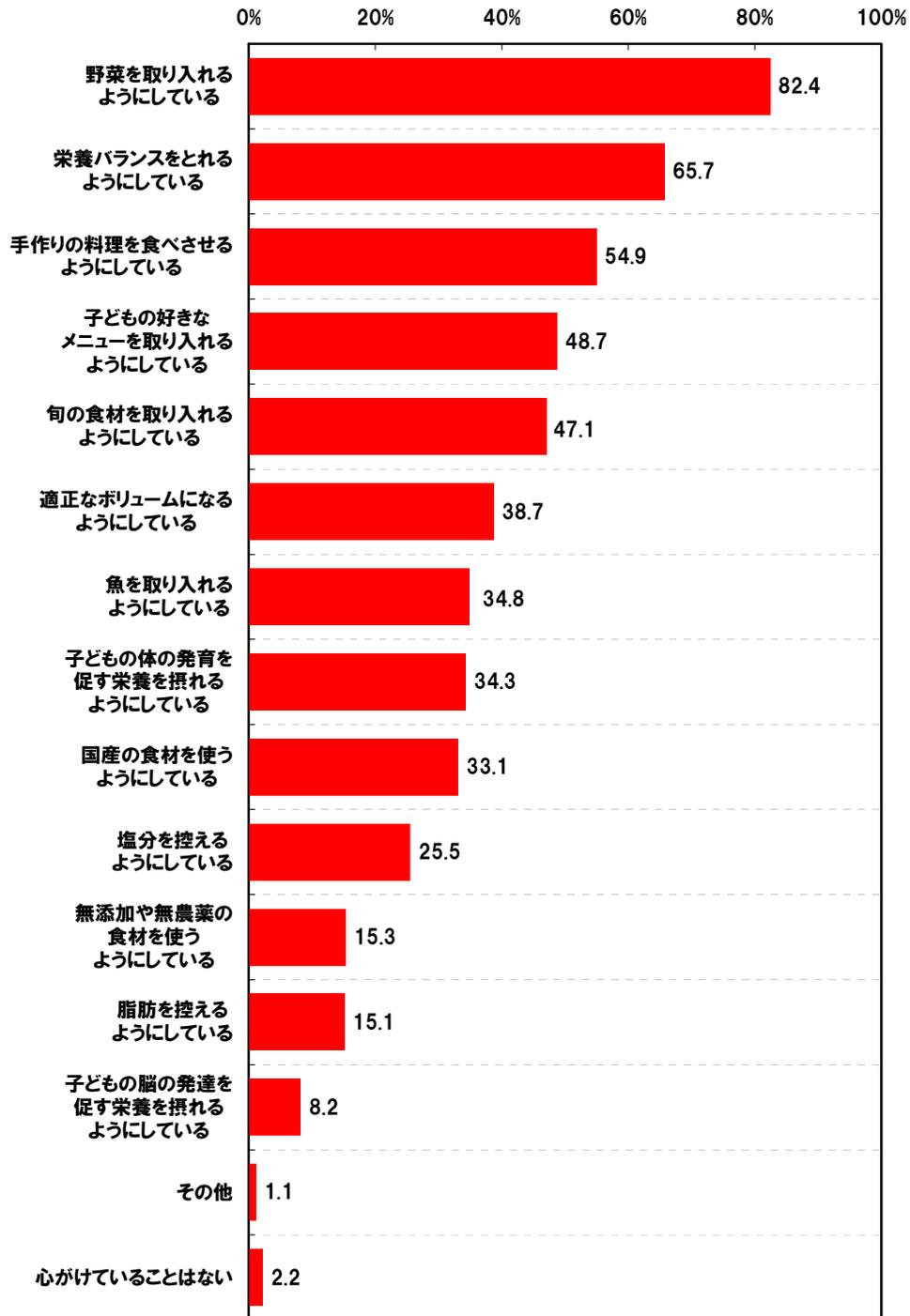
※対象者: 事前調査の回答者で末子が高校生以下の方



◆食卓に登場する頻度 (単一回答形式)

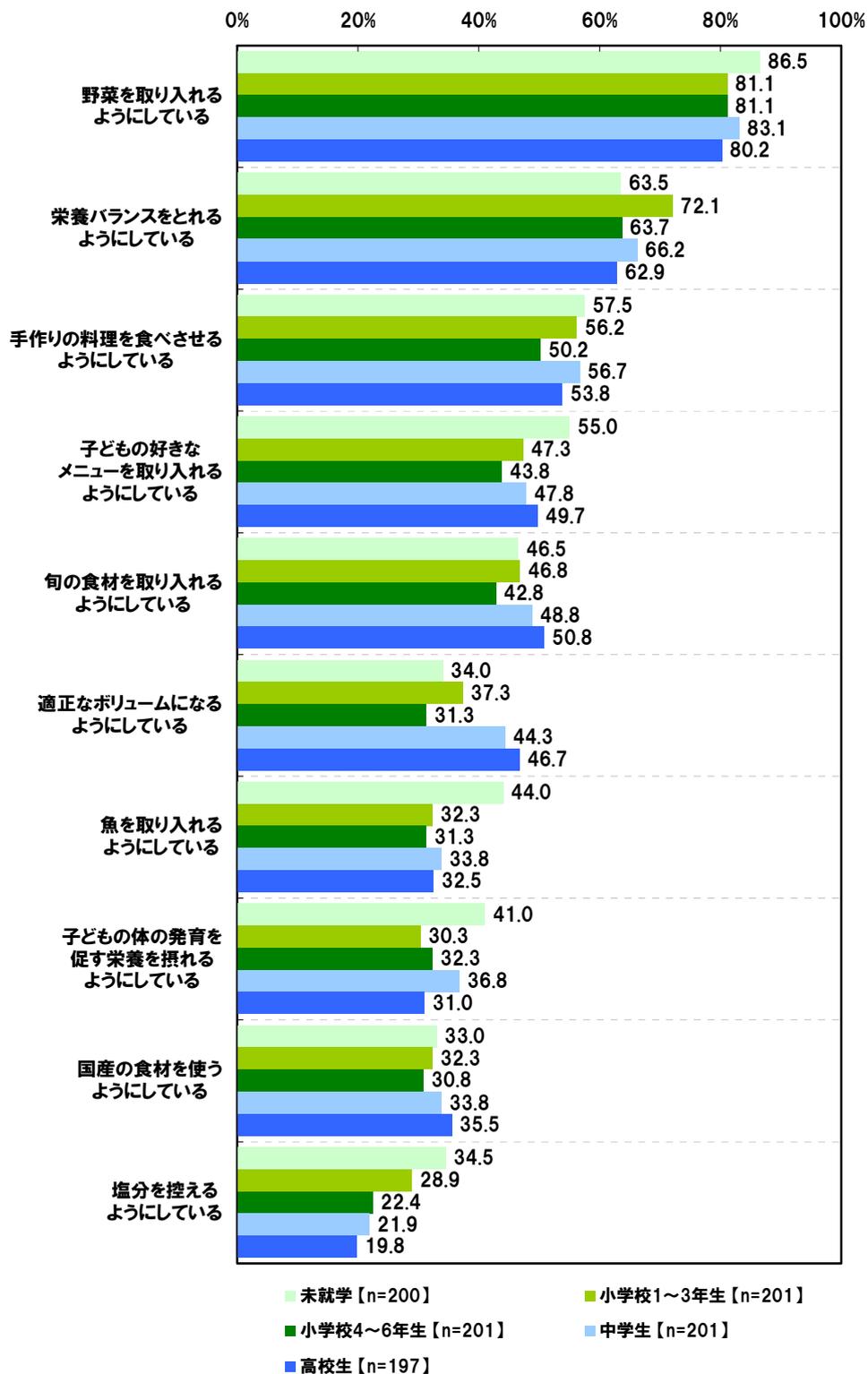


◆普段、お子様の食事でご心がけていること（複数回答形式）  
\_全体

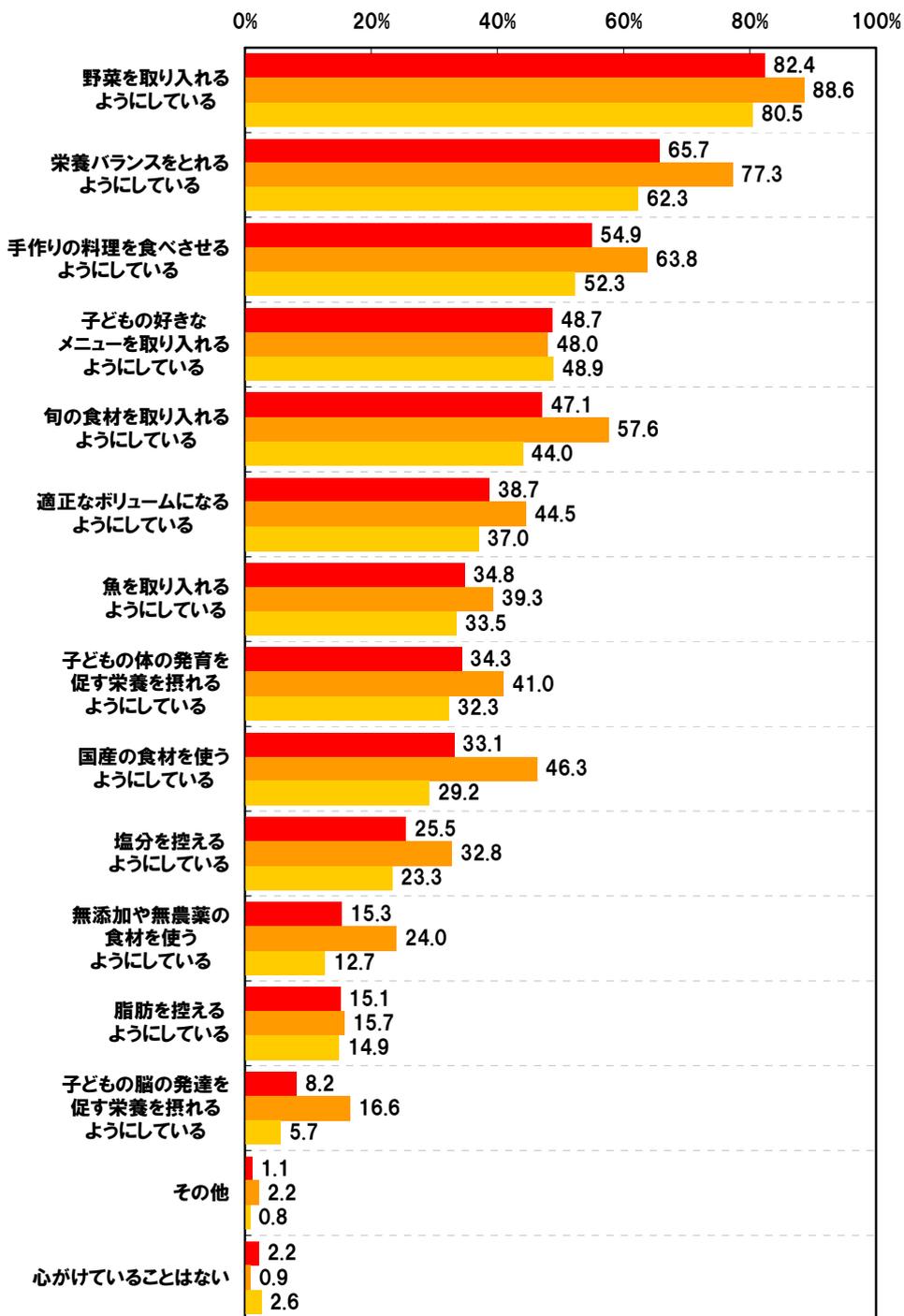


■全体【N=1000】

◆普段、お子様の食事でご心がけていること（複数回答形式）  
 子どもの学年別  
 ※上位10項目を抜粋

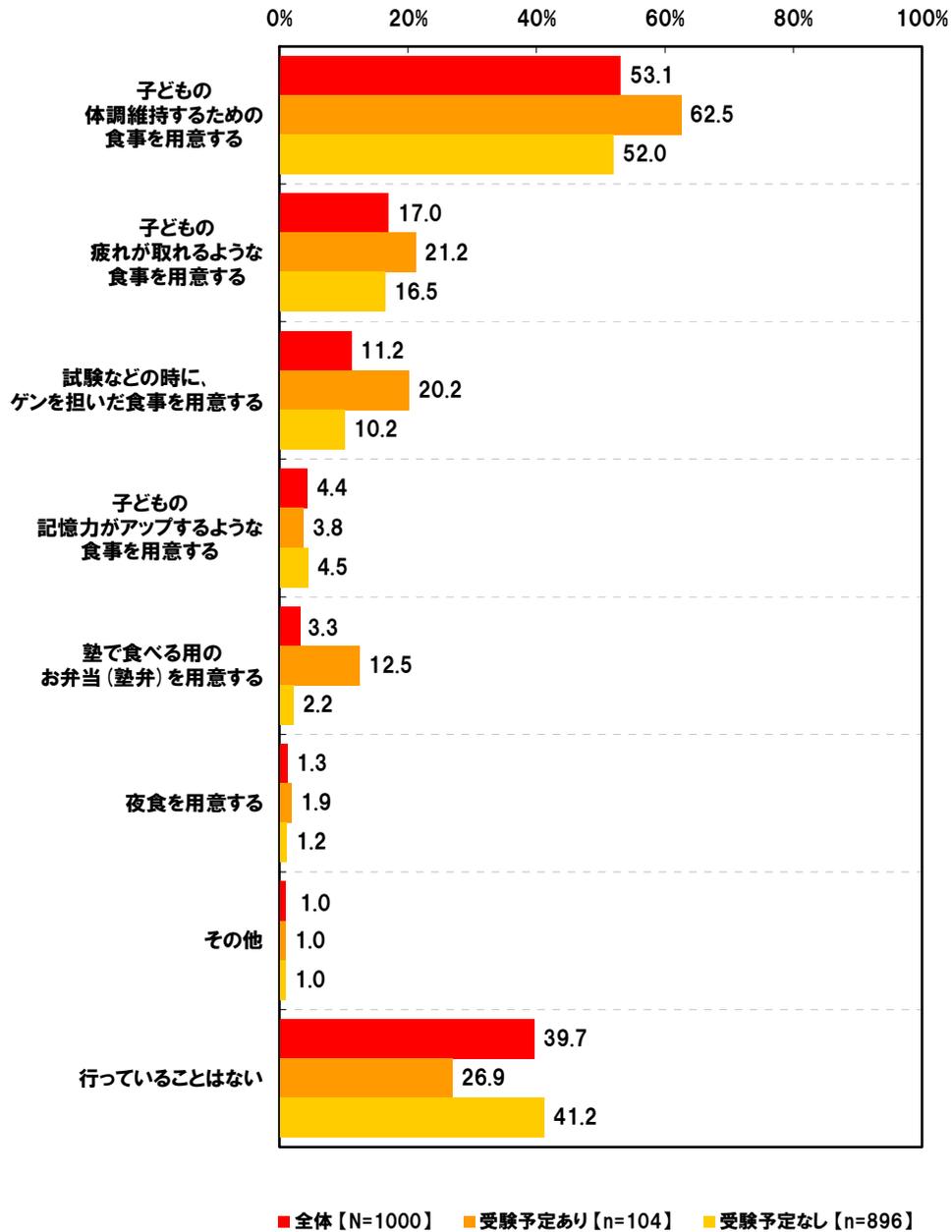


◆普段、お子様の食事で心がけていること（複数回答形式）  
難関校への進学希望別  
※上位10項目を抜粋

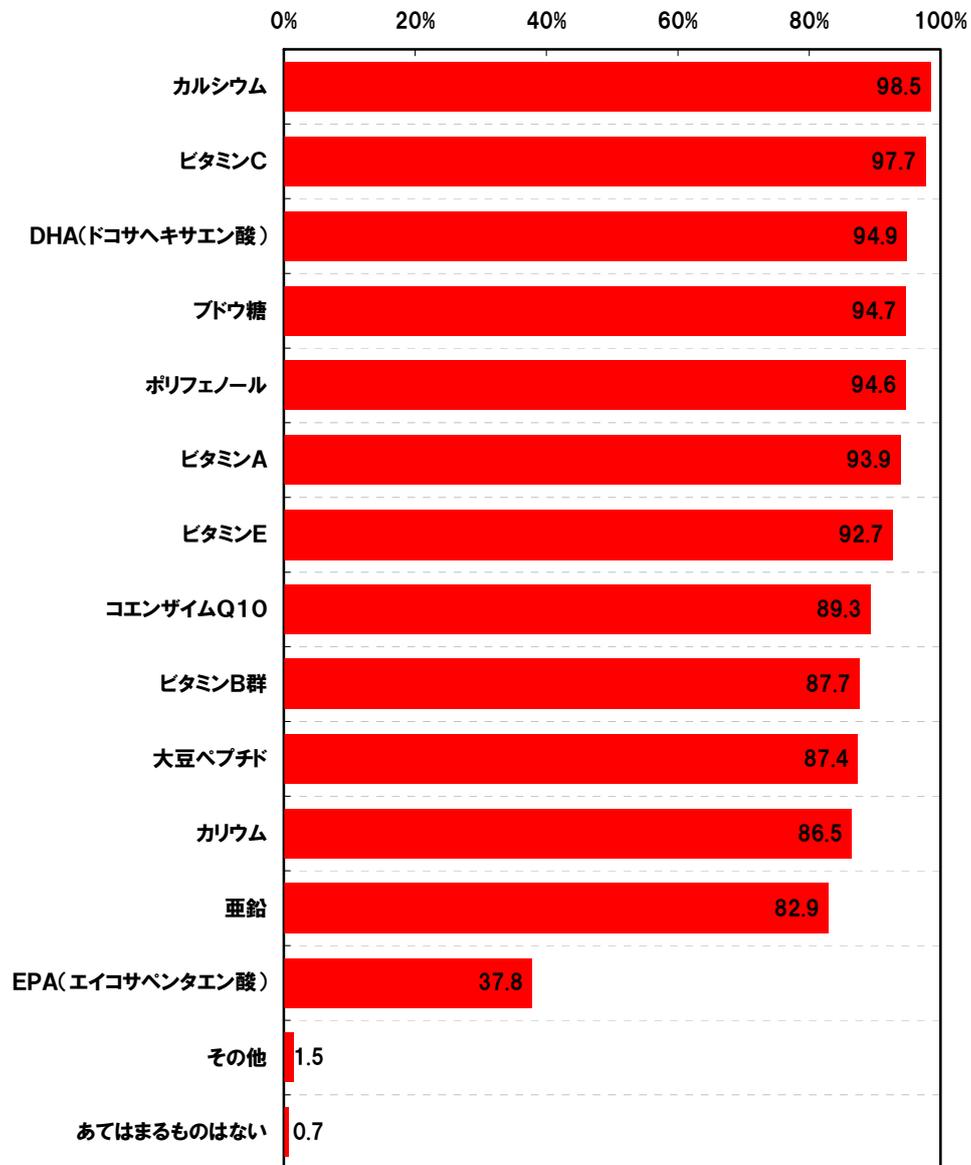


■ 全体【N=1000】  
■ 難関校への進学を希望する【n=229】  
■ 難関校への進学を希望しない【n=771】

◆お子様の勉強をサポートするために食事面でやっていること（複数回答形式）  
\_全体・受験予定別

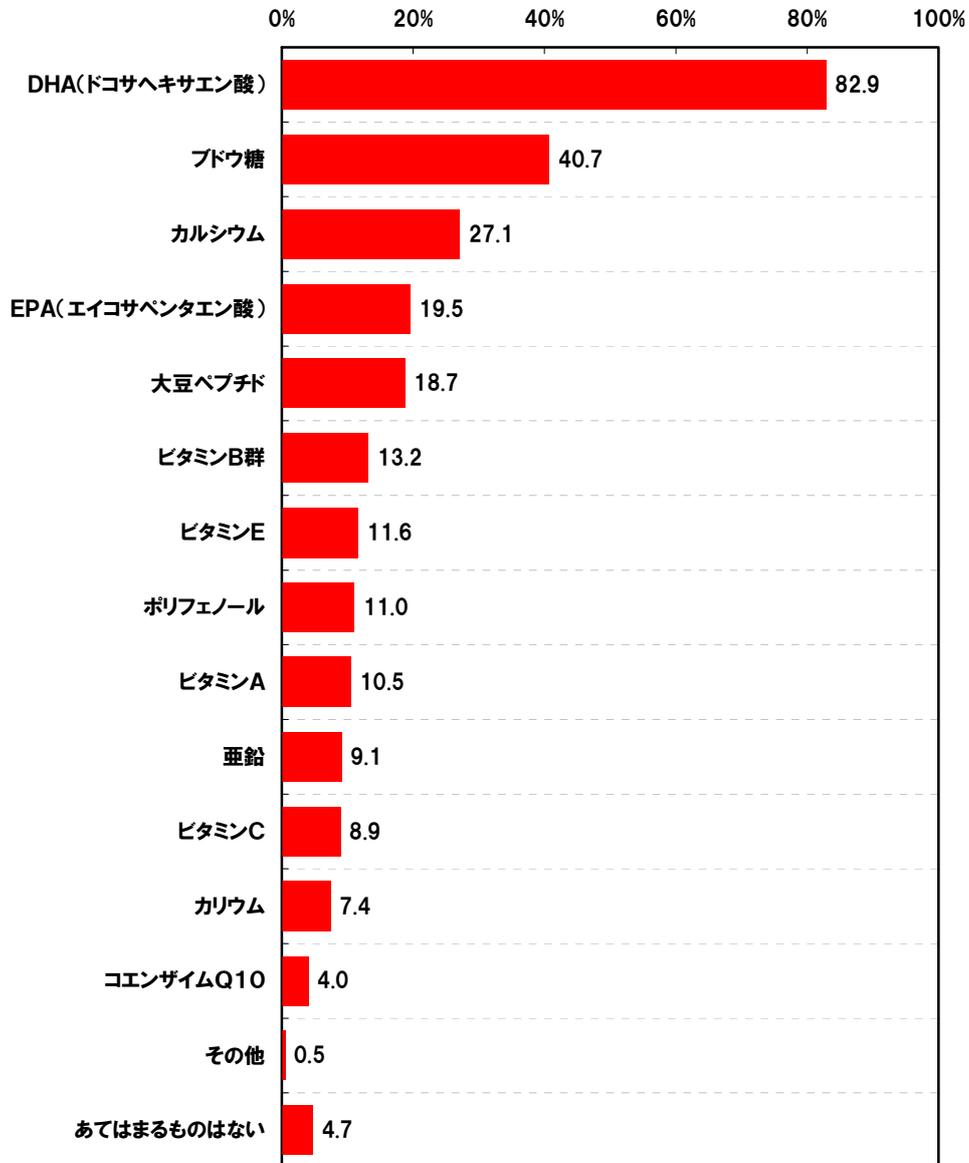


◆名前を知っている栄養（複数回答形式）  
\_全体



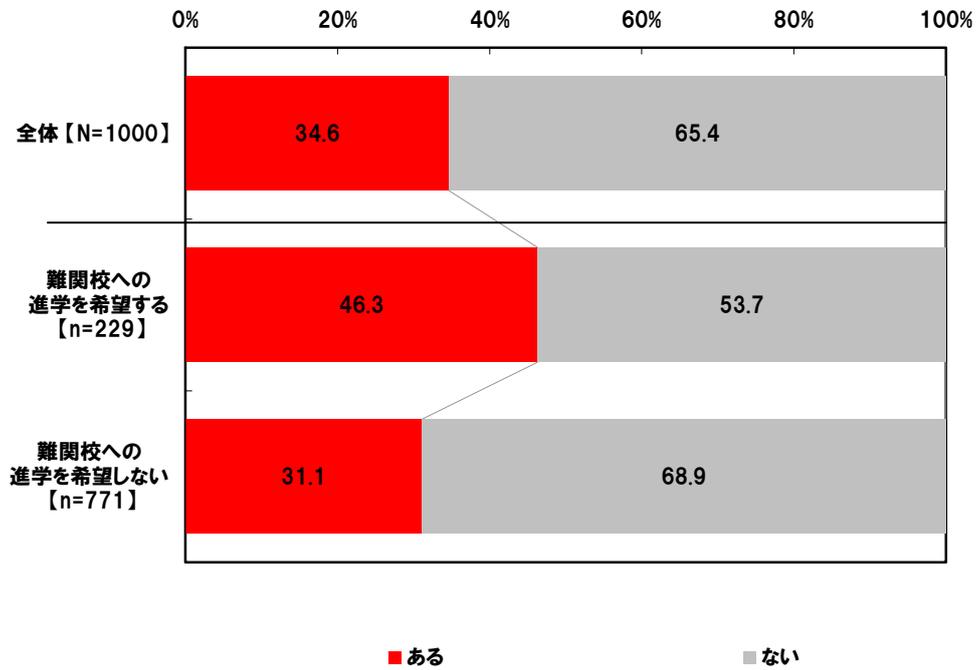
■全体【N=1000】

◆"頭にいい"栄養として認識していた栄養（複数回答形式）  
\_全体

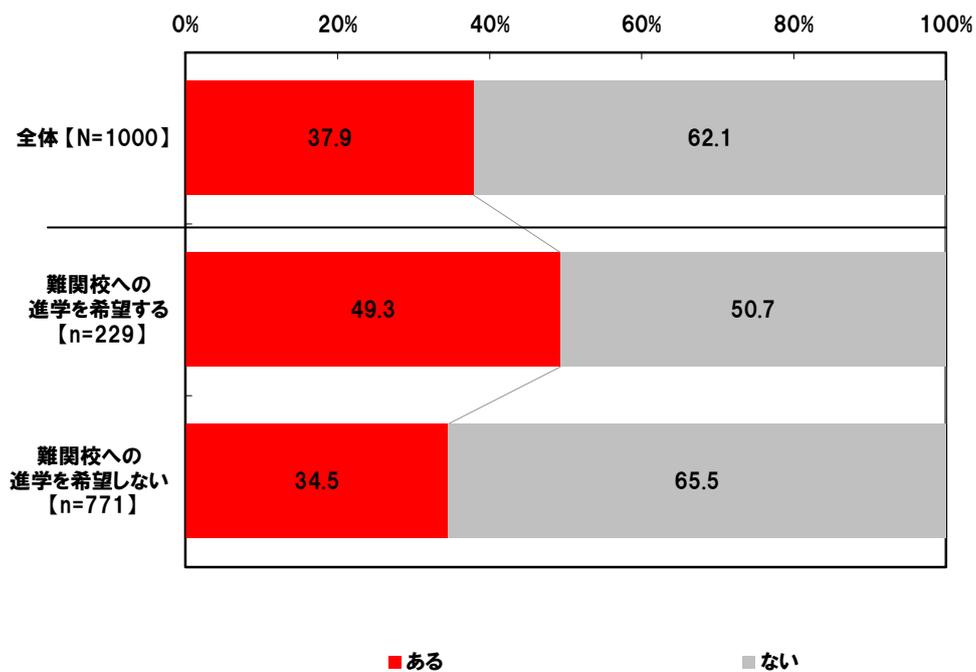


■全体【N=1000】

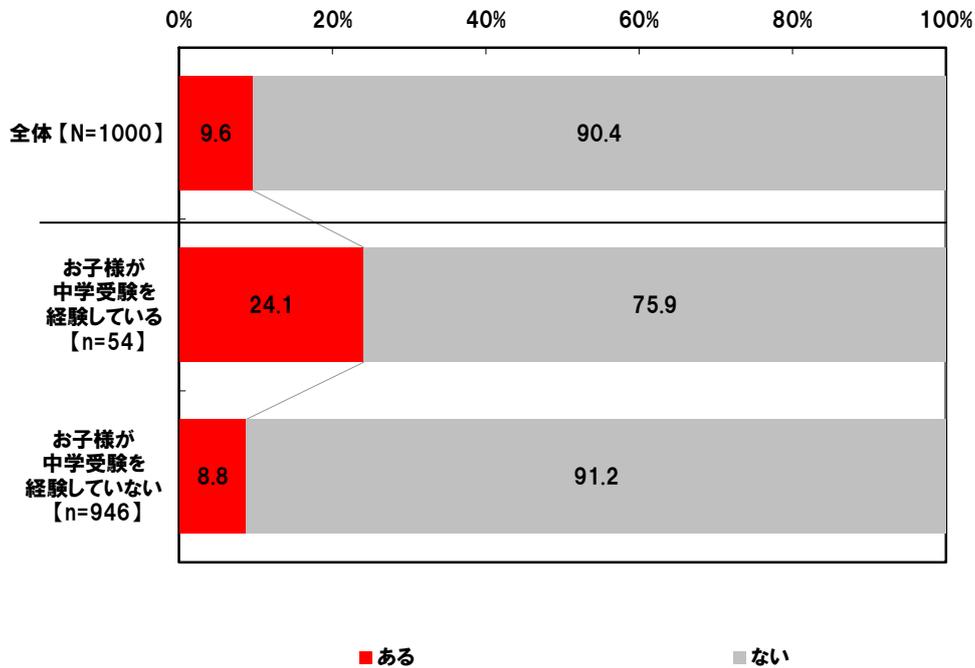
◆DHAに関連する経験【DHAを意識して家庭での食事を作ったこと】  
(単一回答形式)



◆DHAに関連する経験【DHA入りと書かれた商品をつい買ってしまうこと】  
(単一回答形式)

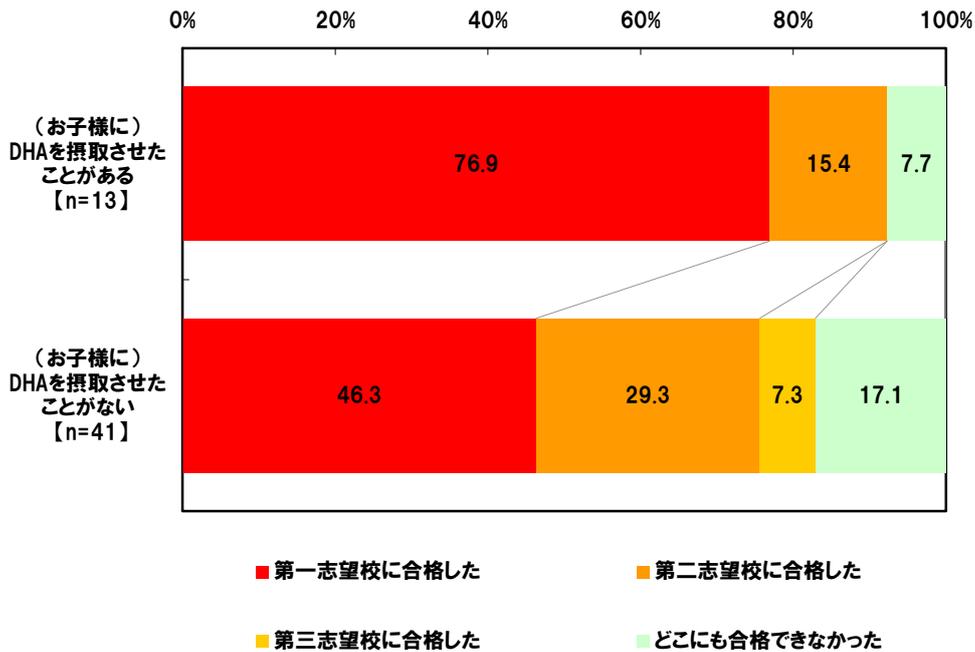


◆DHAに関連する経験[DHAのサプリメントを(お子様に)摂取させたこと]  
(単一回答形式)



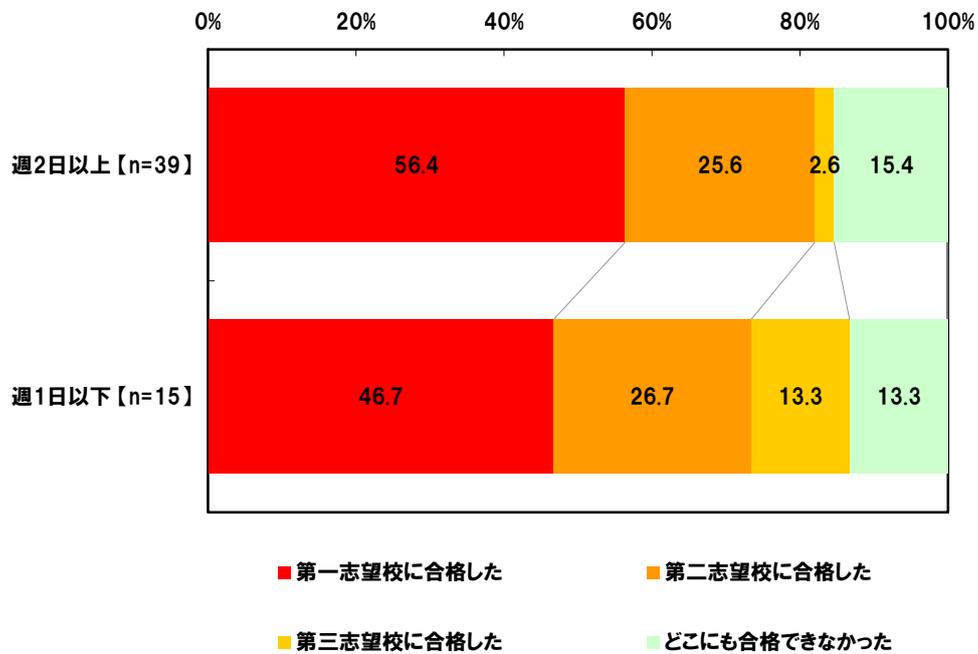
◆中学受験結果 (単一回答形式)  
\_DHAを(お子様に)摂取させた経験別  
対象: お子様が中学受験を経験した方

※n数が小さい為、参考値

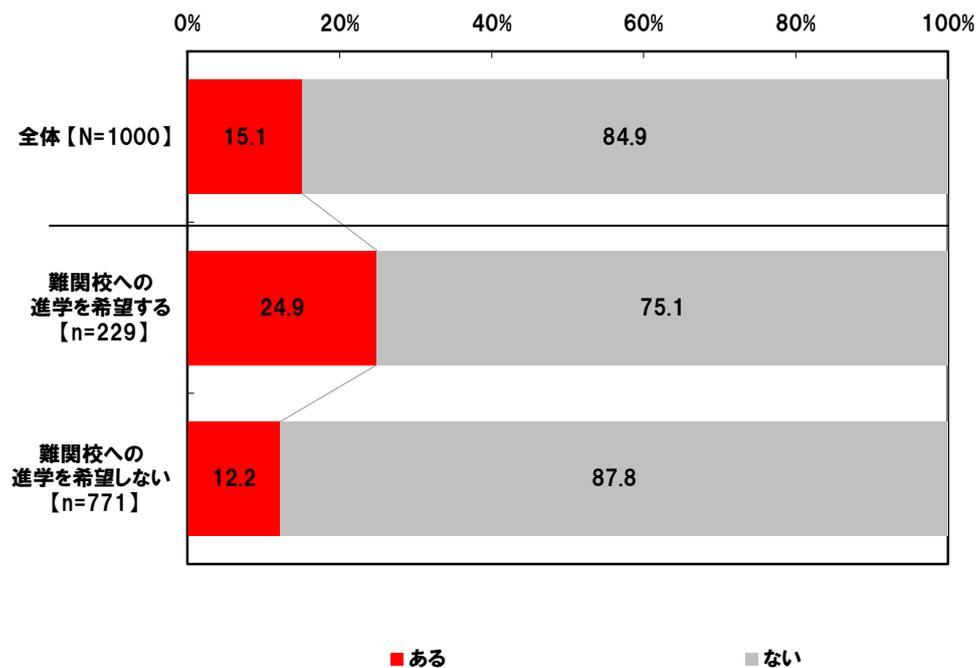


◆中学受験結果（単一回答形式）  
魚が食卓に登場する頻度別  
対象：お子様が中学受験を経験した方

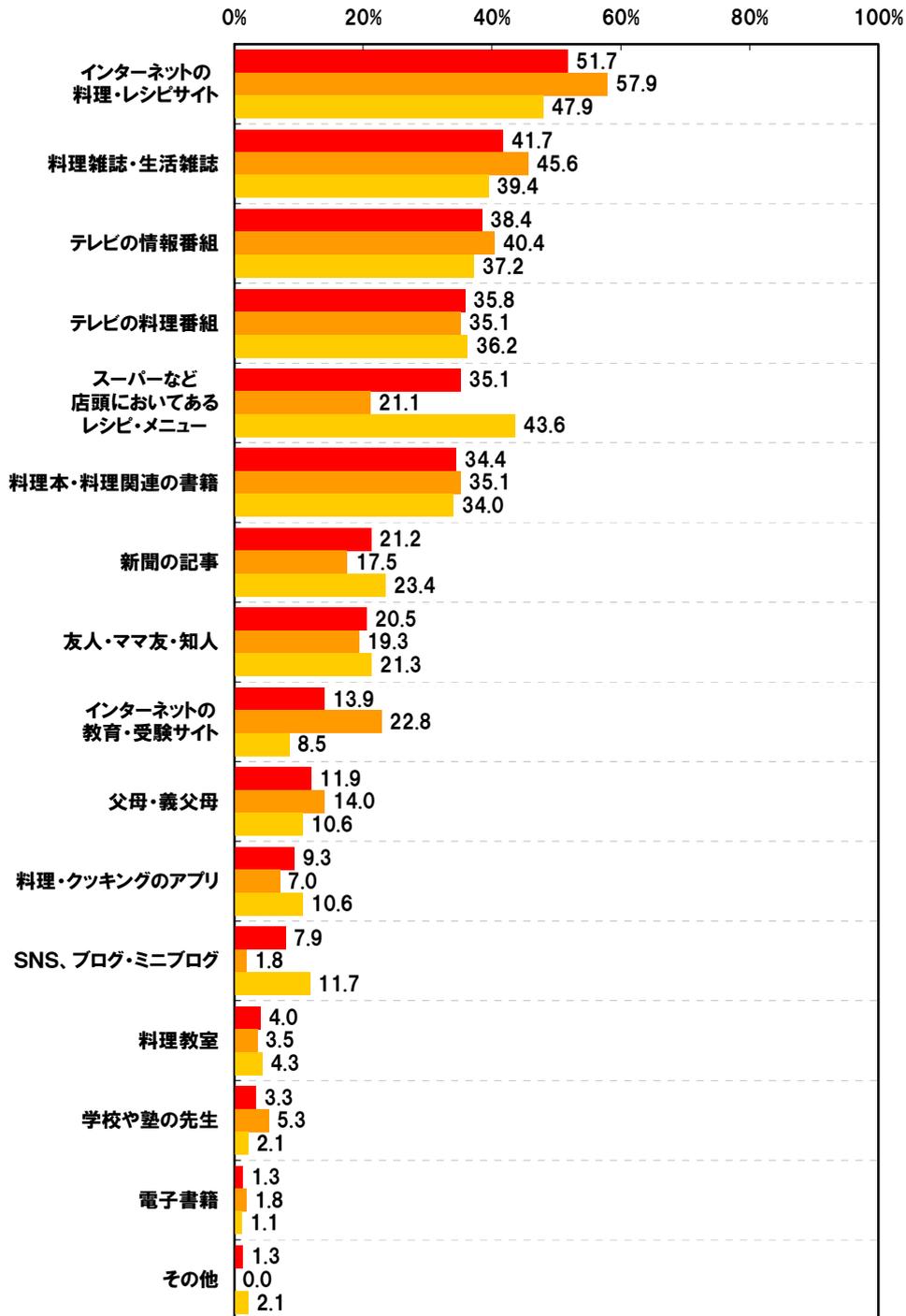
※n数が小さい為、参考値



◆食事に関連する経験【頭が良くなるメニューを調べたこと】  
（単一回答形式）



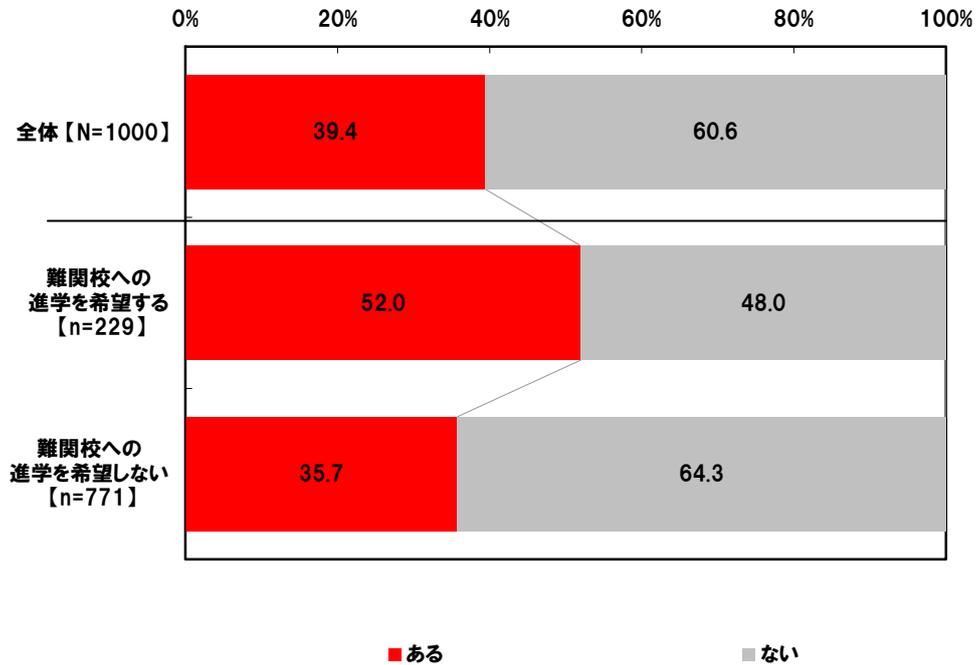
◆どのようにして「頭が良くなるメニュー」を調べたか（複数回答形式）  
 難関校への進学希望別  
 対象：頭が良くなるメニューを調べたことがある方



■ 全体【N=151】 ■ 難関校への進学を希望する【n=57】 ■ 難関校への進学を希望しない【n=94】

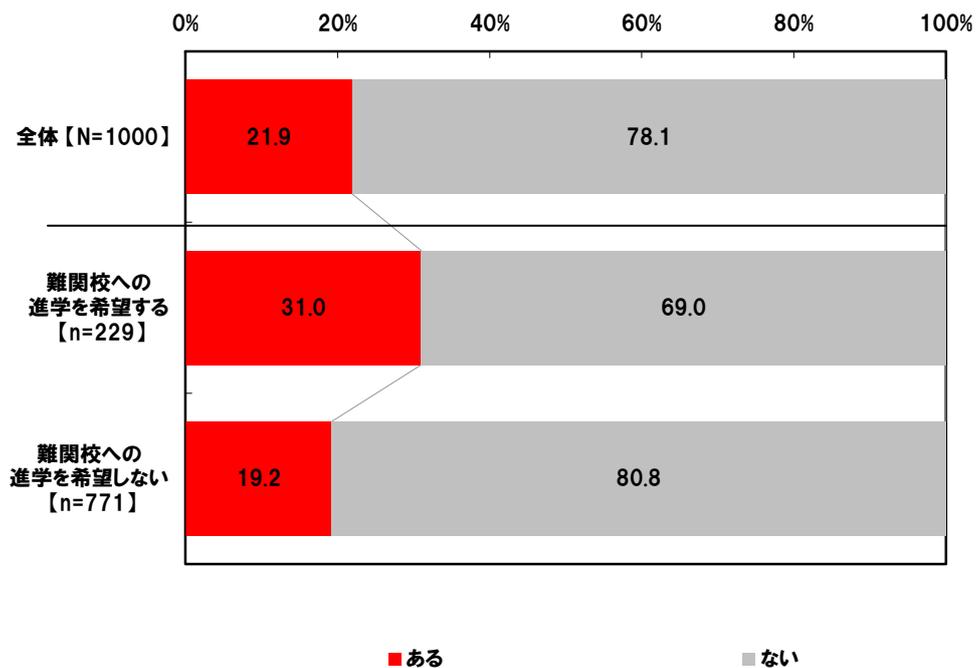
◆成績と食事に関連する経験

【子どもの頭が良くなるように、魚をたくさん摂らせようと思ったこと】  
(単一回答形式)

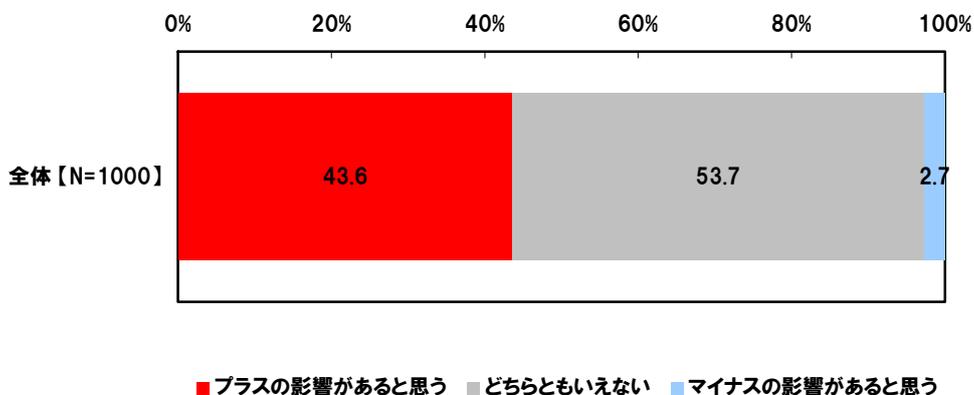


◆成績と食事に関する経験

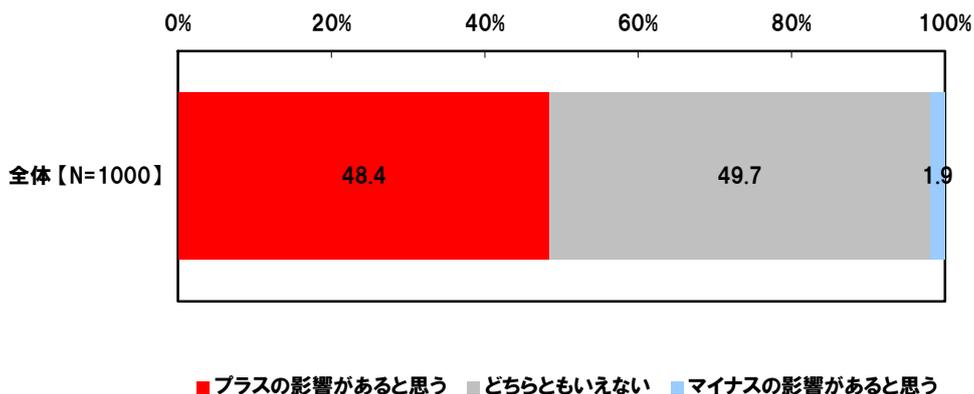
【料理で応援しているから、もっと勉強を頑張ってもらいたいと思ったこと】  
(単一回答形式)



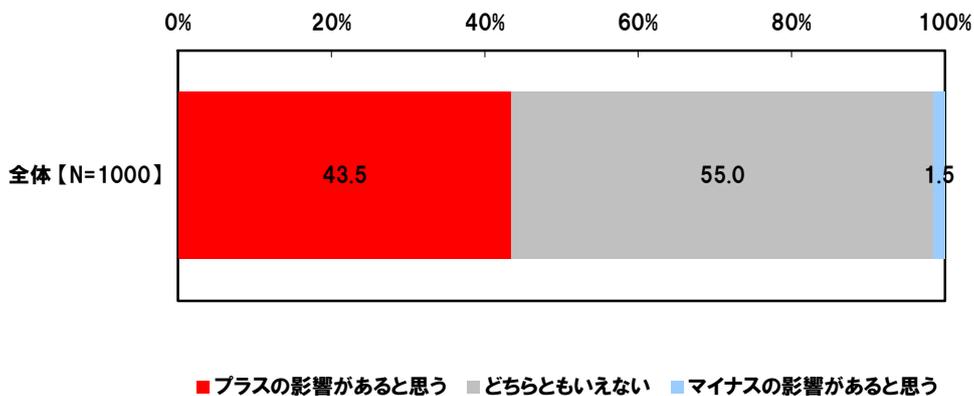
◆テレビゲームやケータイゲームがお子様の脳の発達に影響があると思うか  
【脳トレゲーム】  
(単一回答形式)



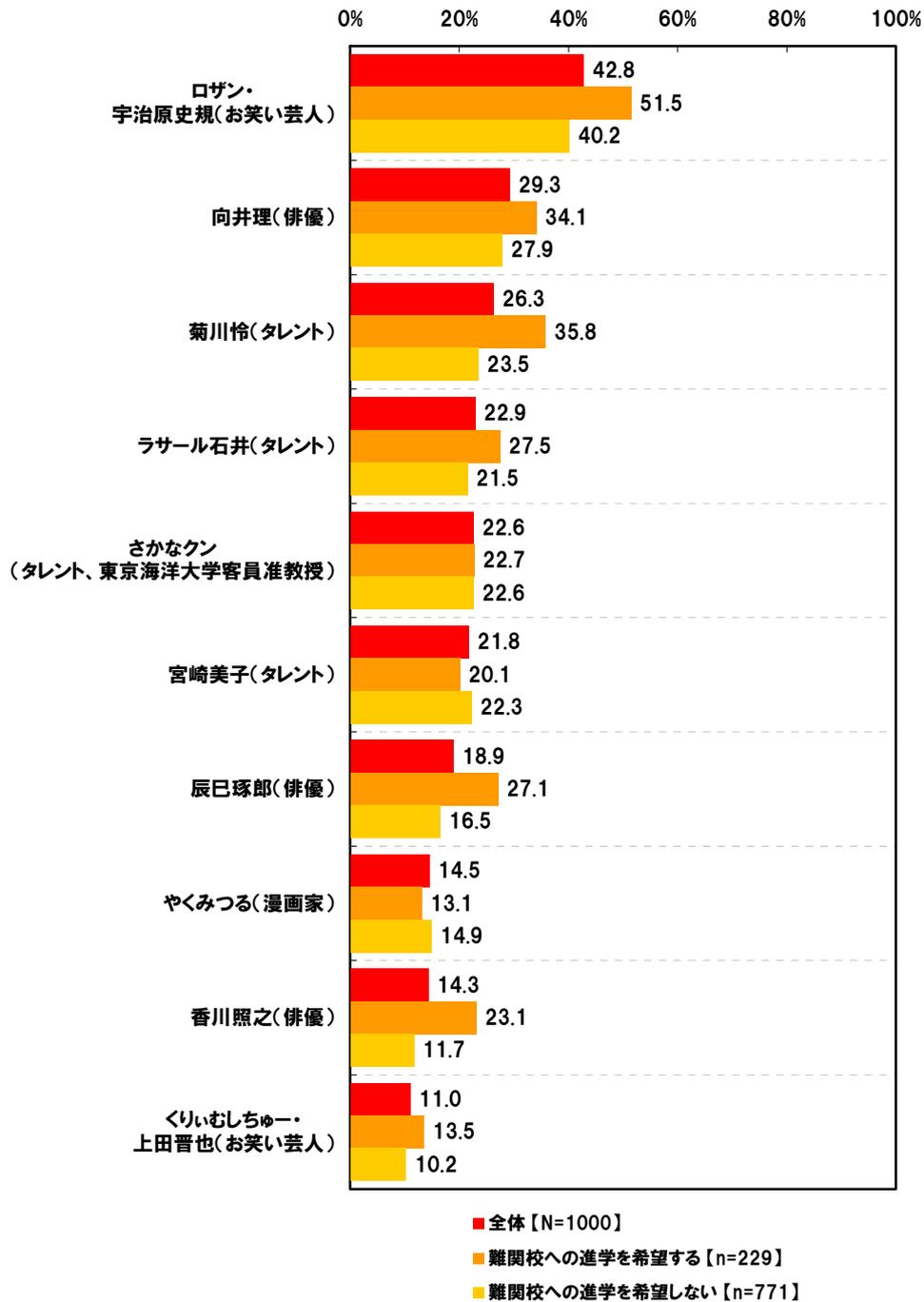
◆テレビゲームやケータイゲームがお子様の脳の発達に影響があると思うか  
【(手足や全体を動かす)スポーツ体感ゲーム】  
(単一回答形式)



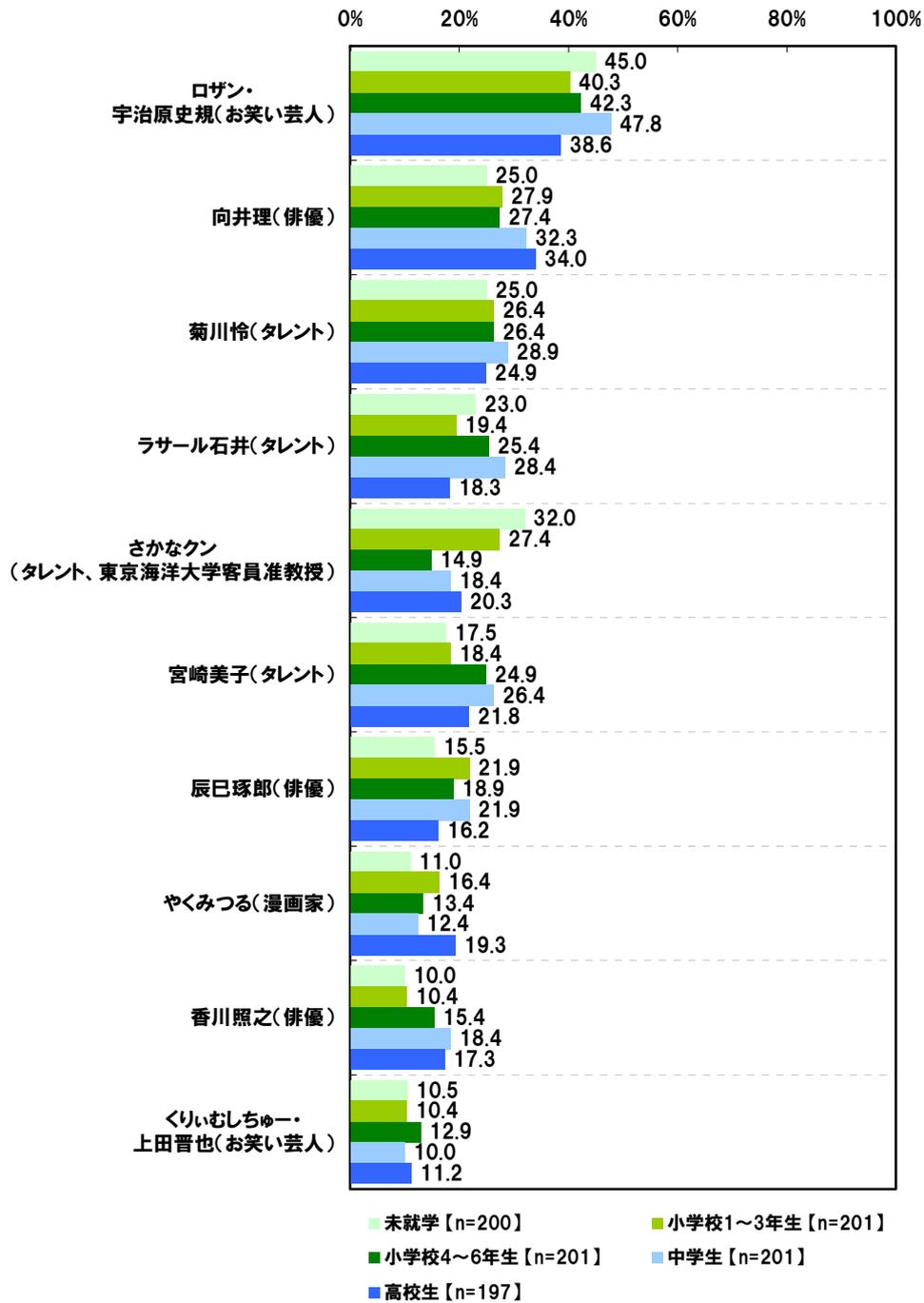
◆テレビゲームやケータイゲームがお子様の脳の発達に影響があると思うか  
【(手足や全体を動かす)ダンスゲーム】  
(単一回答形式)



◆“発育期にどのような食事を摂っていたのか知りたい”IQ芸能人（複数回答形式）  
\_難関校への進学希望別  
※上位10項目を抜粋



◆“発育期にどのような食事を摂っていたのか知りたい”IQ芸能人（複数回答形式）  
子どもの学年別  
※上位10項目を抜粋



(調査概要)

- ◆調査タイトル：子どもの成長とDHAに関する調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
末子が高校生以下で、週1日以上自宅で夕食を作る30～49歳の女性
- ◆調査対象者の内訳：女性 30代（500名）40代（500名）  
（末子学年での内訳）：未就学児（200名）小学1～3年生（201名）小学4～6年生（201名）  
中学生（201名）高校生（197名）
- ◆調査期間：2011年09月02日～09月08日
- ◆調査方法：インターネット調査（モバイルリサーチ）
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答母数から1,000サンプルを抽出）
- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社  
（調査協力会社：ネットエイジア株式会社 担当：吉田）

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
「マルハニチロホールディングス調べ」と付記のうえ  
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

株式会社マルハニチロホールディングス  
TEL : 03-6833-0826  
Eメール : koho@maruha-nichiro.co.jp  
受付時間 : 9時00分～18時00分（月～金）

■■会社概要■■

代表者名 : 代表取締役社長 久代 敏男  
設立 : 2004年4月  
(2007年10月に、株式会社マルハグループ本社から  
株式会社マルハニチロホールディングスに社名変更)  
所在地 : 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロントビル  
業務内容 : 水産事業、食品事業、畜産事業、保管・物流事業

会社および商品の詳細は <http://www.maruha-nichiro.co.jp/> をご覧ください。